

茨城県農産物販売推進東京本部情報

平成30年 6月

1 東京都中央卸売市場(平成30年1~5月)の青果物取扱高について

- ① 全体の入荷量は約76万 t で、前年比約6%減、金額は約2,342億円 で前年並みとなった。
- ② 茨城県産の入荷量は約9.6万 t で、前年比約2%減、金額は約250億円 で前年比3%増となった。
 (金額の内訳は、野菜209億円、果実41億円。前年同期比で野菜3%増、果実3%増、平年同期比で野菜10%増、果実10%増)
 金額が【増加】した品目(前年対比)：こまつな(142%)、みず菜(122%)、ねぎ(117%)、いちご類(104%)
 金額が【減少】した品目(前年対比)：レタス類(85%)、ピーマン(88%)、れんこん(89%)、メロン類(99%)

- ③ 茨城県の1~5月計の青果物入荷量は平年比1%増(シェア12.7%)、取扱金額は同約10%増(シェア10.7%)となった。

	市場計 ※2			茨城			他県のシェア(1~5月計)			
	1~5月計	年間計	年間比	1~5月計	年間計	年間比	千葉	北海道	栃木	
数量	H30	759,928		96,440	←シェア(12.7%)		13.2%	7.4%	3.9%	
	H29	806,092	1,994,086	40.4	97,989	236,414	41.4	13.3%	7.1%	3.6%
	(前年比)	94		98	シェア(12.2%)					
	平年値※	803,728	2,003,485	40.1	95,241	228,865	41.6			
	(平年比)	95		101	シェア(11.8%)					
金額	H30	234,238		25,037	←シェア(10.7%)		9.2%	2.8%	7.7%	
	H29	234,189	570,141	41.1	24,309	60,168	40.4	8.9%	3.6%	7.5%
	(前年比)	100		103	シェア(10.4%)					
	平年値※	224,387	553,898	40.5	22,698	56,083	40.5			
	(平年比)	104		110	シェア(10.1%)					

(単位：t, 百万円, %)

※1：平年値は平成25~29年の5カ年平均。
 ※2：市場計は東京都中央卸売市場における総計を表す。

《参考》
 平成29年実績(1~12月計)
 茨城県：金額シェア(10.6%)、数量シェア(11.9%)
 千葉県：金額シェア(8.0%)、数量シェア(10.9%)
 北海道：金額シェア(5.9%)、数量シェア(11.6%)

2 東京都中央卸売市場(平成30年5月単月)の茨城県産青果物主要品目の取扱高

()内は前年対比

野菜類の入荷量は約2.3万トン(96%)、単価は200円(96%)、金額は約45.2億円(92%)
 果実類の入荷量は約3.4千トン(113%)、単価は457円(92%)、金額は約15.4億円(104%)

※平年比(全国比)は、市場全体の数量、単価と、市場全体の平成25~29年同月の5カ年平均値との比率

	品目	数量(t)			単価(円/kg)			金額(千円)				
		前年比%	平年比	平年比(全国比)	前年比%	平年比	平年比(全国比)	前年比%	平年比			
野菜	ねぎ	1,628	110%	115%	98%	480	107%	105%	109%	780,865	117%	120%
	ピーマン	1,889	94%	96%	100%	350	92%	101%	97%	662,064	86%	97%
	はくさい	6,387	97%	112%	115%	50	78%	75%	77%	320,608	76%	85%
	きゅうり	1,009	82%	91%	105%	228	108%	111%	113%	230,054	89%	101%
	野菜類計	22,659	96%	104%	103%	200	96%	95%	97%	4,527,022	92%	98%
果実	メロン類	2,274	113%	111%	104%	460	91%	100%	99%	1,045,232	103%	110%
	果実類計	3,379	113%	111%	98%	457	92%	101%	109%	1,542,890	104%	111%

(野菜)

- ねぎ GW明けの降雨や春ねぎから夏ねぎの切り換え時期となったため、中旬の出荷量は全国的に落ち込んだ。茨城県は乾燥の影響はあったが3月以降の天候で太りが良く出荷量が伸び、前年比110%、平年比115%となった。単価は市場全体のねぎ入荷量が減少と需要の増加から、平年を上回り、販売金額も前年比117%、平年比120%となった。
- ピーマン 上旬の出荷量は前年・平年を上回っていたが、全国的にGW明けの降雨と低温の影響があり、中旬は出荷量の落ち込みが見られ、総量は前年比94%、平年比96%、全国的には平年並みとなった。数量の少なかった中旬以降、単価は平年を上回っているが、数量減の影響等もあり、月計の販売金額は前年比86%、平年比97%と下回った。
- はくさい 降雨等により入荷量が減少した中旬は需要が高まり、単価が上昇した。しかし、下旬からは再び入荷量が潤沢になり、単価が下落した。数量は前年比97%、平年比112%、単価は前年比78%、平年比75%、販売金額は前年比76%、平年比85%と苦戦が続いている。

(果実類)

- メロン類 3月以降の好天により出荷が前進化し出荷量は前年の113%、平年比**111%**となった。単価は市場入荷量の急激な増加や、それまでの単価高の影響により、売行きが鈍く、単価は前年の91%と落ち込んだ。販売金額は、数量が多かったため、前年比103%、平年比110%となった。

※各数値は、東京都中央卸売市場実績及び東京青果物情報センター速報値を基に算出